

産業建設常任委員会審査概要報告書

委員長 高岡 宏和

- I 開催年月日 令和 6 年 5 月 20 日（月）
II 会議時間 午後 1 時 00 分～午後 1 時 47 分
III 出席委員等 〔出席委員〕◎高岡 宏和 ○田中 勝文 熊木 義城
横田 誠二 山口 泰祐 酒井 善広
上田 武 水口 清志
（◎…委員長 ○…副委員長）
〔議長〕 本田 利麻
〔副議長〕 ※横田 誠二 副議長は委員として出席
〔説明員〕 別紙名簿のとおり
〔委員外議員〕 新開 広恵
〔事務局職員〕 高嶋 史恵 島田 輝 二口 崇
〔傍聴者〕 なし

IV 審査の概要

1 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

〔産業振興部〕

- 。高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」及び「御旅屋人マーケット」の実績について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示）

【高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU」の実績について】

- 実績についての所見、感想は。起業件数が 13 件となっているが、実績としては成功だったのか。
- △ K P I（重要業績評価指標）として、令和 6 年度の相談件数は 1,000 件、起業件数は 15 件と設定している。5 年度については、一定程度の相談件数はあったが、まだまだ足りていないところもあるため、6 年度についてはさらに力を入れて取り組んでい

きたい。13 件の起業については、飲食店のほか、ドローンの飛行記録システムの開発・販売の会社、IT コンサル会社などとなっており、TASU への相談から幅広い分野の起業につながったことは大変良かったと考えている。また、御旅屋人マーケットでチャレンジ出店していただいた方に TASU を紹介し、そこから起業・創業につながったという事例もあり、TASU と御旅屋人マーケット、ハードとソフトで行っている 2 つの事業の相乗効果が生まれたと考えている。

- 560 件の相談があったということだが、例えば飲食店に関する相談が多いなど、具体的にどのような相談があり、起業・創業についてどのようなニーズがあるのか。また、起業された方はどのような場所で起業されたのか。空き店舗を活用するなど、まちなかのにぎわいにつながるような実績はあるのか。

△ TASU については、確かな起業のビジョンを持った方の相談を受けるだけではなく、敷居を低くして、これから何かをしようと考えている方々にも対応できる形で開設した。相談内容についても、現在お勤めになっている方が将来的に起業したい、あるいは退職後など、いつかのタイミングで何かやってみたいなど、具体的なことが決まっていないような相談も多いと聞いている。その中から何度か面談を行い、実際に起業に結びついたものが 13 件である。起業場所については、13 件のうち市内で起業されたものが 9 件である。高岡駅地下で空き店舗を活用した事例もあるが、とりわけ店舗を持たなくても起業できるような業種の場合は、TASU にオフィスを構えて起業されたという事例も 2 件ある。

- 退職後に様々な選択肢があるということを提供できていることは大変良いことであると思う。起業場所についても、空き店舗を活用した事例があるとのことで、にぎわい創出の 1 つの成果である。今後も市内での起業件数が増えるように取り組んでいきたい。(要望)

- TASU は開設してから 2 年目に入っているが、起業された方の現在の経営状況は把握しているのか。

△ TASU からアプローチすることもあるが、起業された方が TASU に広告・PR についての相談をするということもあり、アフターケアやフォローという形で起業された方と連絡を取っていると聞いている。

- 起業された方の中に廃業された方はいるか。

△ 現時点では聞いていない。

- 起業後 1 年未満の廃業率が約 5 割、3 年未満で約 8 ～ 9 割と言われているが、そのような中で 13 件の起業、そして廃業がないということは大変素晴らしいことであると思う。伴走型支援については、常々お願いしているところではあるが、プロモーションや販路拡大など、様々な経営支援・相談にも乗っていただき、長く続けられる企業を増やしていただきたい。(要望)

- 1,000 人あまりの視察者がいたということで、かなり多い人数と感じているが、実際にどのような方が視察に来られたのか。市内の方なのか、あるいは市外・県外の方なのか、またどのような業種の方が来られたのかを教えてください。

△ 詳細な内訳については現在データを持ち合わせていないが、開設当初は市内の方、経済団体などといった方々が多かった。夏ごろからは行政視察の申込が増えており、

他の地方自治体の職員や議員の方々が多数視察に来られた。

- 視察に来られた方に対してアンケートを実施するなど、どのような反響があったかを把握しているか。
- △ アンケートはとっていないが、同様の起業・創業の機能を整備したいということで、同じ自治体から複数の申込があった。
- 外部の方の声というのも大事であると思う。機会があれば、アンケートをとって参考にしていきたい。(要望)

【「御旅屋人マーケット」の実績について】

- 実績についての所見、感想は。
- △ 平均店舗数が1回あたり26店舗となっているが、今後出店する店舗を増やしていきたい。入込客数については、おおむね見込んでいた通りの人数となっている。
- 令和5年度は9回開催し、平均で約2,200人の入込客数があったとのことだが、入込客数の推移は把握しているのか。
- △ 入込客数については毎月カウントしており、最も多いのが11月で3,400人、最も少ないのが7月で1,200人となっている。
- 時系列に並べて右肩上がり、右肩下がりといったトレンドはあるのか。
- △ 入込客数は天候に左右されることが多い。明確なトレンドはなく、おおむね2,000人前後の方に来ていただいている。
- 成果が出ているということで、大変驚きもあり、素晴らしいと感服している。中心市街地の活性化については、この取組が寄与しているところもあると思うので、この勢いを今後にもつなげていきたい。出店者だけが儲かるものではなく、中心市街地全体の活性化につながるような施策・企画も拡充していきたい。(要望)
- 事業者の中には、2回目以降の出店につながらない方もいると聞いている。出店するからには採算ベースを確保する必要があると、各店舗でそれぞれ努力をされているものと思うが、市として全体の売上は把握しているのか。もし、把握していないのであれば、今後の取組に生かすためにも把握すべきではないか。
- △ 出店された方に毎回アンケートを行っており、そのアンケートによると、飲食関係の店舗の売上が5万円強、物販・サービス関係の店舗の売上が2万円弱となっている。
- アンケートで売上を把握しているとのことだが、飲食、物販・サービスといっても様々なジャンルがあると思う。ジャンル別の売上について集計、評価しているのか。
- △ 飲食関係や物販・サービス関係などの中で、さらにジャンル分けはしていない。
- 御旅屋人マーケットは良い実績が出ていると思うが、今後どのような方向性で進めていくのか、見解は。
- △ 6年度はまだスタートしたばかりということもあり、ひとまず5年度と同様に3月まで実施したい。その取組や実績を評価しながら、7年度の当初予算や今後の方向性を検討していきたい。

[都市創造部]

- 。令和6年度都市創造部所管事業の予算内示について

〈 委員から、次のとおり質疑があった。 〉

【令和6年度都市創造部所管事業の予算内示について】

- 全体で内示率が85%ということだが、要求額と内示額はそれぞれいくらだったのか。
- △ 要求額が約23億2,000万円、内示額が約19億9,000万円である。
- おおむね予定通りの額がとれたと見てよいのか。
- △ 内示率が85%ということで満額ではなかったが、妥当なところではないかと考えている。不足する分については、市単事業でやりくりをするほか、事業間パッケージの中で配分の見直しなども考えていきたい。また、今後の補正予算ということも期待できないわけではないため、そうしたものも活用しながら、なるべく遅れをとらないように進めていきたい。

[上下水道局]

- 。令和6年度上下水道局所管事業の予算内示について

〈 委員から、次のとおり質疑があった。 〉

【令和6年度上下水道局所管事業の予算内示について】

- 国に要求した段階では、令和6年能登半島地震の影響を受けていないと思うが、今回内示を受けた老朽管更新事業のエリアで地震の影響があったところはあるのか。
- △ 市内全域の水道管路で地震の影響はあった。老朽管更新事業のうち、伏木一宮等については、これまでも工事をしてきたエリアであり、地震の災害復旧として実施するわけではなく、耐震化路線を計画的に延伸しているものである。

2 その他について

- 。本委員会の行政視察について
令和6年7月16日（火）から18日（木）に実施することが報告された。

〈 委員から、質疑等はなかった。 〉

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[産業振興部]

- (1) 「学生×高岡で輝く女性社員との交流カフェ」の開催について
- (2) 令和6年度 連休中等祭事・イベントにおける観光客等入込数について

〈 委員から、次のとおり質疑等があった。 〉

【学生×高岡で輝く女性社員との交流カフェについて】

- 人口減少社会の打開策として、女性の働く場所の確保、創出が大変重要視されている中で、素晴らしい事業であると思う。このイベントの開催場所、プロモーションの期間など、イベントの規模はどれくらいのものを想定しているのか。
- △ 本事業は令和6年度に初めて実施する事業である。面談方式は最大30人としているが、オンラインでの参加も可としており、人数については柔軟に対応できると考えている。呉西地区の高校を卒業し、県内外の大学に進学されて、現在大学3年生の方のご実家に封書でご案内をしたところであり、その対象数は2,034人である。また、企業ナビとやま、インターンシップナビとやま、Uターンガイドとやまが一つになった県の就活ラインとやまのホームページにも掲載して案内することとしている。
- 若い女性の流出を食い止めるためにも、このような取組は大切である。さらに大きくしていくようなイメージを持って注力していただきたい。(要望)

【令和6年度 連休中等祭事・イベントにおける観光客等入込数について】

- 高岡といで菜の花フェスティバルについて、令和6年度限りで終了することとなったが、市として受け止めは。
- △ 新型コロナウイルス感染症の影響により4年間実施できなかったが、6年度に節目となる第20回目のフェスティバルが開催できた。本フェスティバルがスタートした当時は、菜の花農家の数も現在より多く、辺り一面に黄色い菜の花が咲き、壮観だったと聞いている。しかしながら、現在は菜の花農家が1軒のみとなっており、催事として維持していくということが、規模的にも難しくなってきたのではないかと思う。ただ、地域の方々がお集まりになって、熱意をもってイベントを楽しんでおられる様子を拝見した。今後も地域の活力で引き続きイベントのような取組をお願いしたいと考えており、もしそういったことがあれば、できる限りの支援をしていきたい。

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

産業建設常任委員会 当局説明員（２７名）

産業振興部長	式 庄 寿 人	都市創造部長	赤 阪 忠 良
産業振興部次長	長 久 洋 樹	都市創造部技術政策監	梶 本 敏 規
産業振興部次長	須 田 稔 彦	都市創造部次長	伴 孝 宏
産業振興部参事（兼務）	伴 孝 宏	都市創造部次長 都市計画課長	山 森 久 史
産業企画課長	今 方 順 哉	景観みどり課長	田 口 昌 子
商業雇用課長	中 川 正 人	道路整備課長	中 出 裕 嗣
観光交流課長	野 村 岳 人	土木維持課長	中 澤 俊 一
農業水産課長	割 田 一 郎	建築政策課長	氷 見 和 人
農地林務課長	横 山 太 一	営繕課長	井 林 哲 雄
みなと振興課長	上 田 浩 樹	福岡駅前土地区画整理推進室長	橘 茂 徳
地域振興交流課長	有 栖 友 広		
		上下水道事業管理者	黒 木 克 昌
農業委員会事務局長（併任）	須 田 稔 彦	上下水道局次長	寺 井 義 則
		総務課長	小 久 保 光 章
		営業課長	熊 本 敬 二
		水道工務課長	片 岡 利 行
		下水道工務課長	高 林 隆
		施設維持課長	村 栄 正 英